お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

SoftBank 102SH / 102SH Ⅱ

このたびは、SoftBank 102SH／102SHⅡをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

SoftBank 102SH／102SHⅡをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

SoftBank 102SH／102SHⅡは、3G方式とGSM方式に対応しております。

- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

目 次

※お問い合わせ先一覧は裏表紙に記載しています。

この印刷物は再生紙を使用しています。

お買い上げ品の確認

■102SH／102SHⅡ本体

■電池パック（SHBED1）

■PC接続用microUSBケーブル（SHDDL1）

■充電用microUSB変換アダプタ（SHCDL1）

■卓上ホルダー（SHEED1）

■microSDHCカード（試供品）

※お買い上げ時には、本機に取り付けられています。
本書ではmicroSDHCカード（microSDカードを含む）を、以降「SDカード」と記載いたします。

■クイックスタート

■お願いとご注意（本書）

■保証書（本体、充電用microUSB変換アダプタ）

関連情報のご紹介

■**本機の使いかたや機能を詳しく知りたいとき**

- 本機に内蔵されている「使い方ガイド」（アプリ）をご活用ください。
  - ■ホーム画面で「使い方ガイド」➡画面の指示に従って操作
- 下記の「オンラインマニュアル」もご利用ください。
  - ■本機から：「ブラウザ」➡ MENU ➡「ブックマーク」➡「オンラインマニュアル」　※パケット通信料が必要
  - ■パソコンから
    - ・102SH：http://www.softbank.jp/mb/r/support/102sh/
    - ・102SHⅡ：http://www.softbank.jp/mb/r/support/102sh2/

■**USBドライバ入手先**

本機とパソコンを「高速転送モード」で接続するときは、あらかじめパソコンにUSBドライバをインストールしておく必要があります。下記のパソコン用サイトから入手してください。
http://k-tai.sharp.co.jp/download/tools/utility/index.html

■**ソフトバンクモバイルホームページ**　http://www.softbank.jp

■**外部機器連携ガイド（パソコン用）**　http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/s/

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」（☞20ページ）をお読みのうえ、正しくお使いください。

こんな使いかたはやめましょう

■充電端子を接触させない

金属製のストラップやヘアピンなどで充電端子どうしを接触させると非常に危険です。持ち運び時にも十分ご注意ください。

■分解／改造しない

キャビネットを開けたり改造しないでください。感電やけがの原因となります。修理などはソフトバンクにご依頼ください。

■防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。

■加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。

■指定品以外は使用しない

充電器／電池パックなどは必ずソフトバンク指定のものをお使いください。

■電池パックは特に注意

電池パックは取り扱いを誤ると、漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。

こんな場所では電源を切りましょう

■航空機内

運航の安全に支障をきたす可能性があります（航空機内で携帯電話を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください）。

■病院内

医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

■満員電車など

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

マナーを守りましょう

本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
次のような場所では、特にご注意ください。

■電車やバスなどの交通機関

車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■劇場や映画館、美術館など

周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■レストランやホテルのロビーなど

静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■街の中

通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

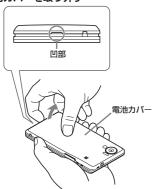
簡易留守録

電話に出られないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

電波OFFモード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

電池パックの取り付け／取り外し

電池パックを取り付ける

❶ 電池カバーを取り外す

●本機をしっかりと持ち、電池カバーに軽く指を添え、電池カバーの凹部に指先をかけて取り外します。

❷ 電池パックを取り付ける

●リサイクルマークがある面を上にして、電池パックの先を合わせます。

❸ 電池カバーを取り付ける

●本体と電池カバーを合わせたあと、斜線部分の各箇所を指でしっかりと押さえます。
●電池カバーが完全に取り付けられているかを確認してください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどが挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。

電池パックを取り外す

本機の電源を切り、図のように電池パックを持ち上げます。

電池カバーについて

●電池カバーが正しく装着されていないと、防水／防塵性能が保証できませんのでご注意ください。
●電池カバーに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
●電池カバーが破損したときは、電池カバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池パックの腐食など、故障の原因となります。

電池パックについて

●電池パックを使い切った状態で、保管・放置しないでください。お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
●電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
●電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
●電池パックや本機の充電端子が汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してください。そのままにしておくと、充電ができなくなるなど接触不良の原因となります。
●電池パックは防水／防塵対応していません。

リチウムイオン電池について

●本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
■リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
■リサイクルのときは、ショートさせたり、分解しないでください。火災・感電の原因となります。

Li-ion00

電池パックの消耗を軽減する

次の操作を行うと、電池パックの消耗を軽減できます。

❶ MENU

❷「端末設定」

❸「省エネ設定」

❹「技ありモード」／「お助けモード」

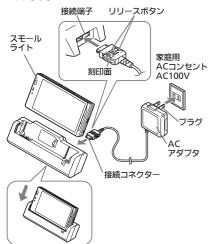
❺「OK」

●確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
●設定モードは、「通常モード」／「技ありモード」／「お助けモード」の3つから選べます。
●「技ありモード」／「お助けモード」を選択した場合は、いくつかの機能が制限されます。また、「お助けモード」では画面の明るさが抑えられ、Wi-FiやGPSなどの通信機能が無効になります。
●各モードの「編集」／「確認」から、設定項目の編集／確認を行うことができます。編集結果を反映させるには、モードを選択し直してください。
●設定項目「省エネ待受」では、画面消灯時バックグラウンドで動くアプリケーションの動作を制御します（アプリケーションによっては、画面消灯時に正しく動作しないことがあります）。次の操作で、制御させるアプリケーションを個別に設定することもできます。
「省エネ待受」の「?」➡「詳細」➡「✓」（対象外）
●定期的に通信をするアプリケーションの中には、「技ありモード」／「お助けモード」から「通常モード」に設定した場合、通信を開始しないものがあります。このときは、⏻（長押し）で本機を再起動してください。

電池パックの充電

卓上ホルダーを利用する

電池パックを本体に取り付け、付属の卓上ホルダーとソフトバンク指定のACアダプタ「ZTDAA1」(オプション品)を使用して充電します。

- ACアダプタおよび卓上ホルダーは、防水/防塵対応していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

1 ACアダプタの接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む

- 接続コネクターは向きに注意して、水平に「**カチッ**」と音がするまで、しっかりと差し込みます。

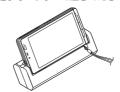
2 ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

3 本機を卓上ホルダーに取り付ける

- 本機を卓上ホルダーの両サイドにあるガイドに沿わせ、矢印の方向に「**カチッ**」と音がするまで押し下げます。
- 充電が始まり、スモールライトが点灯します。
- スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

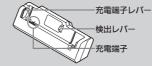
4 卓上ホルダーから本機を取り外し、プラグを家庭用ACコンセントから抜く

■ストラップを取り付けたまま充電するとき

図のように、ストラップを手前方向に出してください。このとき、本機と卓上ホルダーの間に、ストラップを挟み込まないようにご注意ください。

ACアダプタ利用時のご注意

- 充電するときを除き、プラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダー利用時のご注意

- 踏みつけたり、重い物を載せたりしないでください。
- 充電端子を掃除するときは、検出レバーを押しながら充電端子レバーを押してください。

スモールライトが点滅しているとき

- 電池パックの異常か寿命のため、充電できていません。新しい電池パックと交換してください。

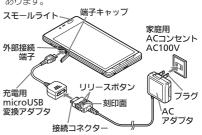
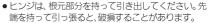
海外での充電について

- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ACアダプタを利用する

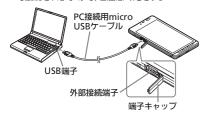
ACアダプタ「ZTDAA1」(オプション品)に、充電用microUSB変換アダプタを取り付けて充電する方法を説明します。

- ACアダプタは、防水/防塵対応していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

■外部接続端子キャップの開閉時のご注意

- ヒンジは、根元部分を持って引き出してください。先端を持って引っ張ると、破損することがあります。
- 端子キャップは確実に閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどが挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- ヒンジを収納しないまま無理に閉じると、端子キャップが変形することがあります。防水/防塵機能が損なわれますのでご注意ください。

PC接続用microUSBケーブルを利用する

PC接続用microUSBケーブルで本機とパソコンを接続すると、パソコンのUSB端子からの電力で本機を充電できます。

- USB接続モードを「**高速転送モード**」で利用するときは、パソコンにUSBドライバをインストールしておく必要があります（USBドライバの入手先：☞1ページ）。
  - ■ SDカード未装着時は、自動的に「**高速転送モード**」で接続されますので、ご注意ください。

❶ 端子キャップを開き、外部接続端子にPC接続用microUSBケーブルを取り付ける

❷ パソコンのUSB端子に、PC接続用microUSBケーブルを取り付ける

- 充電後は、本機からPC接続用microUSBケーブルを取り外したあと、端子キャップを閉じてください。

USB充電利用時のご注意

- PC接続用microUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。
- 接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかったり、充電に時間がかかることがあります。
- 充電時間は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも長くなります。

SDカードの取り付け／取り外し

試供品のSDカードについて

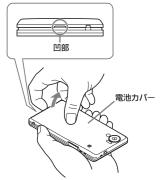
お買い上げ時には、試供品のSDカードが取り付けられています。

- 試供品のSDカードは、保証の対象外となります。

SDカード利用時のご注意

- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

SDカードを取り外す

必ずSDカードの認識を解除したあと、本機の電源を切った状態で行ってください（SDカードの認識解除：☞10ページ）。

❶ 電池カバーを取り外す

- 本機をしっかりと持ち、電池カバーに軽く指を添え、電池カバーの凹部に指先をかけて取り外します。

❷ 電池パックを取り外す

- ○部（電池パックのツメ）に指をかけて、矢印方向へゆっくりと持ち上げます。

❸ SDカードを取り外す

- SDカードを軽く押し込んだあと、手を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

❹ 電池パックと電池カバーを取り付ける（☞4ページ「電池パックを取り付ける」操作❷以降）

SDカードの認識を解除するとき
MENU➡「端末設定」➡「microSDと端末容量」➡「microSDのマウント解除」➡「OK」

SDカードを取り付ける

「SDカードを取り外す」操作❸で、端子面を下にして、SDカードを奥までゆっくりと水平に差し込みます。

- 必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- SDカード以外のものは取り付けないでください。

防水／防塵性能について

本機の防水／防塵性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）※3相当の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機は、IPX5／IPX7の防水およびIP5Xの防塵性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- 電池カバーは確実に取り付け、端子キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 端子キャップや電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。
- イヤホンマイクは、端子部が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。

本機の防塵性能について

- 本機の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- 塵埃が本機に付着した際にはただちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。
- 塵埃が本機に付着した状態で使用されると、画面が表示されなくなるなど重大な故障をきたす場合があります。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ■石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ■海水、プールの水
  - ■温泉、熱湯　など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください（開閉、キー操作を含む）。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥（☞14ページ）を行ったうえでご使用ください。
- 電池パック・卓上ホルダー・オプション品は、防水／防塵対応していません。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカー、カメラ飾り部などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- タッチパネルに水滴が付いている状態や濡れた指でタッチ操作を行った場合、正しく動作しないことがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、「**ソフトバンクショップ**」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 充電器・卓上ホルダー・オプション品は、防水／防塵対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 卓上ホルダーを使わずに充電したときは、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。
- 濡れた手で卓上ホルダー・充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダー・充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、外部接続端子部に水が侵入したときは絶対に充電しないでください。
  充電する前には、必ず次の作業を行ってください。
  1. 本体をしっかりと持ち、20回程度振る
  2. 外部接続端子部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当ててふき取る
  3. 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置する

防水／防塵性能を維持するために

- 端子キャップや電池パック周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - ■はがしたり、傷つけたりしないでください。
    また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - ■端子キャップや電池カバーのすき間、イヤホンマイク端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となることがあります。
  - ■端子キャップや電池パック周囲のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「**ソフトバンクショップ**」にご相談ください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。
  お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「**お問い合わせ先**」（☞裏表紙）または「**ソフトバンクショップ**」へご相談ください。

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流［6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水］で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。電池カバーを取り付けた状態で、端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。

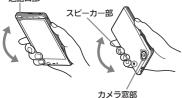
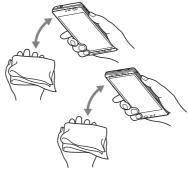
- 電池カバーや端子キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部を洗うときは、めん棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず「イヤホンマイク端子部」、「受話口部」、「送話口部」、「スピーカー部」、「カメラ窓部」の水抜きを行ってください。

- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

1 本機表面の水分を乾いた布などでふく

2 本機をしっかりと持ち、20回程度振る

3 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当ててふき取る

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。
- 開口部の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。

4 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

水抜き後のご注意

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - ■通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - ■イヤホンマイクなどの端子部がショートする恐れがあります。
  - ■寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

暗証番号	各機能を利用するときの操作用暗証番号です（お買い上げ時は設定なし）。
ロックNo.	画面ロックの解除、電話帳制限の設定を行うときに使う暗証番号です（お買い上げ時は「9999」）。
交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）	ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するとき、発着信規制サービスの設定を行うときに使います。

暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページ（☞1ページ）を参照してください。

暗証番号の入力間違いについて

- 各機能で暗証番号の入力を間違えると、間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますのでご注意ください。
  - ■以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更後の番号を入力してください。

操作用暗証番号を設定する

1 MENU ➡「端末設定」

2 「位置情報とセキュリティ」

3 「暗証番号設定」➡「OK」

4 設定する操作用暗証番号入力➡「OK」

5 設定する操作用暗証番号を再度入力➡「OK」

6 「OK」

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使います（USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています）。

- 電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように(USIMカードをロック)することができます。

PINコードを変更する

1. MENU ➡「端末設定」
2. 「位置情報とセキュリティ」
3. 「USIMカードロック設定」
4. 「USIMカードをロック」
5. 現在のPINコード入力➡「OK」
   - 「USIMカードをロック」の欄にチェックが入り（USIMカードロックが有効となり）、PINコードを変更できる状態となります。
6. 「USIM PINの変更」
7. 現在のPINコード入力➡「OK」
8. 新しいPINコード入力➡「OK」
9. 新しいPINコードを再度入力➡「OK」

PINコードの入力間違いについて

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。

PINロックを解除するとき

- お問い合わせ先（☞裏表紙）で、「**PINロック解除コード（PUKコード）**」を確認のうえ、次の操作を行ってください。

  PUKコード入力➡「OK」➡新しいPINコード入力➡「OK」➡新しいPINコードを再度入力➡「OK」

  ■ PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「**ソフトバンクショップ**」にてUSIMカードの再発行（有償）が必要になりますので、ご注意ください。

おもな仕様／使用材料

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

102SH／102SH Ⅱ 本体

項目	内容
質量	本体：約106g 電池パック装着時：約137g
連続通話時間※1	約450分（3Gモード） 約380分（GSMモード）
連続待受時間※2	約420時間（3Gモード） 約390時間（GSMモード）
ワンセグ連続視聴時間※3	約4時間30分
充電時間（本機の電源を切って充電した場合）	ACアダプタ：約240分 シガーライター充電器：約240分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約65×128×9.8mm （突起部 除く）
最大出力	0.25W（3Gモード） 2.0W（GSMモード）

※1 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信／緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境（充電状況、気温など）や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 ワンセグ連続視聴時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、AVポジション「OFF」、エコバックライトコントロール「ON」、サウンド設定「OFF」、なめらかフレーム補間「ON」の条件で、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、電池残量約10%を残した計算値です。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロール「ON」、画面の明るさを「21段階中の11段階目」に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■ 電池パック（SHBED1）

項目	内容
電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1,520mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約45.0×57.0×5.4mm （突起部 除く）
使用材料／表面処理	PC樹脂＋PA樹脂／金メッキ

■ 卓上ホルダー（SHEED1）

項目	内容
入力電圧／入力電流	DC5.4V／700mA
出力電圧／出力電流	DC5.4V／700mA
充電温度範囲	5℃ ～ 35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約145×38×50mm
使用材料／表面処理	ABS樹脂／金メッキ

卓上ホルダーの材料について

- 卓上ホルダーの一部に使用の材料は、植物由来の樹脂を含んだ成形品で、従来の石油系樹脂と比べて、ライフサイクル全体のCO_2排出量、石油使用量を減らすことのできる環境に優しい新素材です。

■PC接続用microUSBケーブル（SHDDL1）

充電温度範囲	5℃ ～ 35℃
ケーブルの長さ	約80cm
使用プラグ	standard-A、Micro-B
使用材料／表面処理	エラストマー樹脂＋熱可塑性ポリウレタン／ニッケルメッキ

■充電用microUSB変換アダプタ（SHCDL1）

ケーブルの長さ	約12cm
質量	約6.5g
使用材料／表面処理	ABS樹脂＋熱可塑性エラストマー／ニッケルメッキ

使用材料

使用箇所	使用材料／表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	レニー樹脂＋GF樹脂＋ステンレス／UV塗装
キャビネット（電池パック側）	レニー樹脂＋GF樹脂＋シリコンゴム
電池カバー	PC樹脂／UV塗装、印刷
サイド飾り	ABS樹脂／UV塗装
ディスプレイ窓	強化ガラス＋PET／裏面印刷、赤外線透過印刷
MENUキー、ホームキー、戻るキー	PC樹脂＋シリコンゴム／裏面印刷、UV塗装
サイドキー（電源キー、音量Up／Downキー）	PC樹脂＋シリコンゴム／UV塗装、印刷
可倒式ワンセグ用アンテナ	ステンレス＋PC樹脂／塗装
赤外線ポート（102SHイノセントパープル／ブラック、102SH Ⅱ クラッシーブラック）、ピクチャーライトカバー	ABS樹脂
赤外線ポート（102SHホワイト、102SH Ⅱ シルバー／ピンク）	PC樹脂／不連続蒸着
カメラ窓	アクリル樹脂／裏面印刷
外部接続端子キャップ	PC樹脂＋ウレタン樹脂＋ステンレス／UV塗装
充電端子	ABS樹脂＋ステンレス／金メッキ
イヤホンマイク端子	ナイロン樹脂
USIMトレイ	ステンレス＋LCP含有
電池パック	PC樹脂＋PA樹脂／金メッキ
ストラップピン	ステンレス
ネジ	SWCH16A（鉄／クロムメッキ）

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新できます。

- お買い上げ時は「**自動更新する**」に設定されています。
- 自動更新の開始時刻は「**更新時刻設定**」をタップすると変更できます。

ソフトウェア更新を行う前に

- 本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります（更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります）。
- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。
- 本機にPC接続用microUSBケーブルを接続しているときは、取り外してください。そのままでソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

手動でソフトウェア更新する

1. MENU ➡「**端末設定**」
2. 「**端末情報**」
3. 「**ソフトウェア更新**」
4. 「**ソフトウェア更新**」➡「**実行**」
   - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付（☞裏表紙）にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」**内容です。

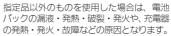
次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、卓上ホルダー、PC接続用microUSBケーブル、充電用microUSB変換アダプタ、充電器(オプション品)、SDカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険

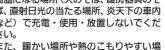
本機に使用する電池パック・卓上ホルダー・PC接続用microUSBケーブル・充電用microUSB変換アダプタ・充電器(オプション品)は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。 指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。 分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部、電池パック、卓上ホルダー、充電器を濡らさないでください。 水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。 禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

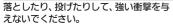
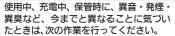
本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告

本機・電池パック・卓上ホルダー・充電器を、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。 禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

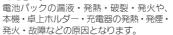
プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。
指示

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。
禁止

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
指示

充電端子・外部接続端子に、水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。
禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。
感電やショートによる火災・故障などの原因となります。
禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・卓上ホルダー・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。
禁止

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。
禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。
指示

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。
禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
禁止

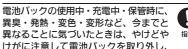
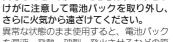
電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。
指示

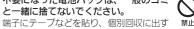
警告

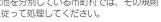
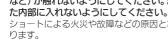
電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。
指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
指示

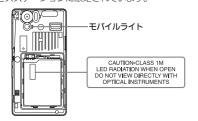
注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
禁止

本機の取り扱いについて

警告

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項：

当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整等の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、指定のサービスステーションに限定されています。

■モバイルライト光源LED特性

a) 連続発光

b) 波長

白：400-700nm

赤：中心波長631nm／600-670nm

c) 最大出力

白：400μW（内部1.2mW）

赤：190μW（内部890μW）

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社（の乗務員）の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：☞18ページ）。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップ・可倒式ワンセグ用アンテナなどを持って本機を振り回さないでください。

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

卓上ホルダー、充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠ 警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
- シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

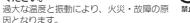
万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

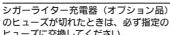
プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となります。

卓上ホルダーや充電器は、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

通電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。
低温やけどになる恐れがあります。

PC接続用microUSBケーブル、充電用microUSB変換アダプタの取り扱いについて

⚠ 注意

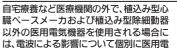
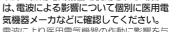
使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本製品では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：☞18ページ）。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

3D映像について

注意

光過敏の既往症、心臓疾患、体調不良、睡眠不足、疲れた状態、酒気を帯びた方は3D映像を視聴しないでください。

禁止

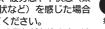
病状などの悪化の原因となることがあります。

3D映像の視聴中に、画像が二重に見えたり立体感を感じにくくなったりした場合は、使用を中止してください。

指示

目の疲れの原因となることがあります。

3D映像の視聴中に、疲労感や不快感（乗り物酔いに似た症状など）を感じた場合は、使用を中止してください。

指示

体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
電車や自動車の中など、画面が揺れやすい環境では特に注意してください。

3D映像の視聴は、7歳以上を目安にしてください。

指示

子供が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
保護者の管理のもと視聴させ、目の疲れがないかご注意ください。

3D映像の視聴時は、30分の視聴を目安に、適度に休憩をとってください。

指示

長時間の視聴により、目の疲れの原因となることがあります。

3D映像の視聴時は、画面の正面から視聴してください。

指示

目の疲れの原因となることがあります。
3D映像を視聴する際は、本機を正面に持って顔から約27cm離すと、映像が浮き上がったり奥行きがあるように見えます。

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（☞裏表紙）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故や故障、修理などにより本機／SDカードに登録したデータ（電話帳・音楽・静止画・動画など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やワンセグ視聴が困難になることがあります。また、通話・ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話や映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

高温時のご注意

- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。
  また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示された約1分後に、撮影データを保存し、自動終了します。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報（技適マーク等）を確認できます。

MENU ➡**「端末設定」**➡**「端末情報」**➡**「技術基準適合証明」**

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

3D変換機能の利用について

お客様が、本機で撮影したもの、他の媒体から入手したものなど、他人が著作権を有する映像を3D変換される場合、個人で楽しむなど、私的目的の範囲内でご使用ください。この範囲を超えてのご使用は、著作権侵害となる恐れがありますのでご注意ください。

3D映像の視聴について

- 3D映像の見えかたについては個人差があります。
- 3D映像を視聴する際は、ディスプレイと両目を平行な状態にしてください。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信やFlash®通信は、通信料が高額になる可能性があります。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「**有効**」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「**有効**」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

SSL／TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL／TLS（インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法）を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンク、シャープ株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi（無線LAN）について

無線LAN（以降「**Wi-Fi**」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります）。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。
   連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート
   ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
   （一般電話からおかけの場合、裏表紙の「**お問い合わせ先**」を参照してください）

- **周波数帯について**
  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

■Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n）は、Bluetooth®と同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャネルは1-13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- フランスなど、一部の国／地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「**他の無線局**」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
(一般電話からおかけの場合、裏表紙の「**お問い合わせ先**」を参照してください)

● **周波数帯について**
この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度:5℃~35℃、湿度:35%~90%の範囲でご使用ください(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃~40℃の範囲で可能)。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ■ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - ■カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

タッチパネルについて

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - 手袋をした指や爪先での操作
  - ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったもので の操作
  - 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - 濡れた指で操作しない
  - タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - 強く押し過ぎない
  - タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などでふいてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。

  MENU➡「端末設定」➡「端末情報」➡「タッチパネル補正」➡画面の指示に従って操作
- 次のようなときは、⏻を押して画面を消灯させたあと、再度⏻を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - 画面に触れても、本機が反応しないとき

イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のマイク付ステレオイヤホン「SHLDL1」(オプション品)をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、イヤホンマイク端子部に強い負荷をあたえると防水/防塵性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

可倒式ワンセグ用アンテナについて

可倒式ワンセグ用アンテナは三段式です。収納するときは無理に押し込まず、最短まで長さを整えてから収納してください。完全に収納しないまま持ち運ぶと、破損の原因となります。

USIMトレイについて

USIMトレイに強い力を加えると破損の原因となります。

- USIMカード取り付け/取り外しの際は、次の点に注意して行ってください。
  - USIMトレイは、ゆっくりとていねいに引き出す
  - USIMカードは、ICチップのある金属部分を上にして挿入する
  - USIMカードをセットしたあとは、USIMトレイごと奥までしっかりと押し込む
  - USIMカードを取り外すときは、USIMトレイからUSIMカードを手前にスライドさせるようにして行う

ストラップの取り付けについて

ストラップが取り付けにくい場合は、電池カバーを取り外した状態で取り付けてください。

フリーズ時の対応方法について

本機が、動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、次の操作で本機を再起動してください。

電池パックを取り外す➡取り外したままで数秒間待つ➡電池パックを取り付ける➡⏻(長押し)

オールリセットについて

オールリセットすると、本機内のすべてのデータが消去されます(お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含みます)。

また、「**携帯電話をリセット**」をタップする確認画面で、「**microSD内データを消去**」にチェックを入れると、SDカード内のデータもすべて消去されます。

リセットした内容は元に戻せませんので、十分に確認したうえで、操作してください。

MENU➡「端末設定」➡「プライバシー」➡「オールリセット」➡操作用暗証番号入力➡「OK」➡「携帯電話をリセット」➡「すべて消去」

Picasa™ウェブアルバムログインについてのご注意

Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogle™アカウントを、本機のGoogleアカウントとして登録してください。本機にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、Picasaは本機のGoogleアカウントの同期項目には表示されません。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
- SoftBank 102SHまたはSoftBank 102SH Ⅱには、一部のアプリケーションがプリインストールされておりません。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。

  MENU➡「**端末設定**」➡「**端末情報**」➡「**法的情報**」➡「**オープンソースライセンス**」

- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
詳細は下記サイトをご参照ください。
https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

動画の撮影／再生の技術には「**MPEG-4**」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.
本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ⅰ）AVC規格準拠のビデオ（以下「**AVCビデオ**」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ⅱ）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ⅰ）VC-1規格準拠のビデオ（以下「**VC-1ビデオ**」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ⅱ）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。© 2011 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.
DataViz, Documents To Go and InTactTechnology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

本機はIrSimple™またはIrSS™機能を搭載しています。IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLC®は、シャープ株式会社の登録商標です。

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。Wi-Fiロゴがついた製品と相互接続が保証されます。IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11nに対応しております。

Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA®、WPA2®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「**おサイフケータイ**」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

「**らくらく瞬漢ルーペ®**」及び「**ラクラク瞬英ルーペ®**」は株式会社アイエスピーの登録商標です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player および Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載 しています。
Adobe Flash Player. Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe Flash Lite. Copyright © 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、Flash、Flash LiteおよびFlash ロゴ はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。(i)ソフトウェアを複製、頒布しないこと。(ii)ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。(iii)ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。(iv)ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。(v)ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。

Google、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play(旧 Android マーケット™)、Google Play ロゴ (旧 Android マーケット ロゴ)、Gmail™、Gmail ロゴ、Google Earth™、Google Earth ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google トーク™、Google トーク ロゴ、Picasa、Picasa ロゴ、Google マップ ナビ™、Google マップ ナビ ロゴ、Google Latitude™、Google Latitude ロゴ、Google プレイス™、Google プレイス ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、メッセンジャー ロゴ、YouTube™ およびYouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Mercury 3Dは株式会社 マーキュリーシステムの立体変換技術の総称です。
他の媒体などから入手した静止画（本機で撮影した静止画を除く）を、画素数1920×1080以上の3D映像に変換し、商用に利用する場合は、株式会社 マーキュリーシステム (Mercury@Mercury3d.co.jp) の許諾が必要です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.2008-2011 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2011 All Rights Reserved.

FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®、Morpho Slide 3D™は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

知的財産権について

CamScanner®, the CamScanner design logo, INTSIG®, the INTSIG design logo are all trademarks or service marks of INTSIG INFORMATION CO., LTD. All other trademarks and service marks appearing on the CamScanner service are the properties of their respective owners. Anyone must not violate any trademark rights of CamScanner including but not limitation of CamScanner's brand, logos and/or trademarks.

「**GALAPAGOS**」、「**GALAPAGOS SQUARE**」、「**GALAPAGOS STORE**」、「**AQUOS**」、「**AQUOS PHONE**」、「**ベールビュー**」、「**VeilView**」、「**ファミリンク**」、「**FAMILINK**」、「**MediaJet**」、「**エコ技**」マーク、「**エコ技**」、「**チャージングシアター**」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「**ジーニアス英和辞典MX**」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「**ジーニアス和英辞典MX**」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「**明鏡国語辞典MX**」©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009

「**Twitter**」の名称、ロゴはTwitter, Inc. の登録商標です。

「**mixi**」および「**ソーシャルフォン**」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「**Mobage**」および「**Mobage**」ロゴは、株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標または商標です。

GREEおよびGREEロゴは、グリー株式会社の登録商標です。

「**レコチョク**」「**レコチョク（ロゴ）**」は、株式会社レコチョクの登録商標です。

「**いつもNAVI**」は、株式会社ゼンリンデータコムが提供する地図・ナビゲーションサービスです。

「**スグデコ！**」は株式会社アイフリークの登録商標です。

ビューンおよびVIEWNの名称、ロゴは株式会社ビューンの商標です。

Ustreamは、Ustream, Inc.の登録商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.（ビジョンオブジェクツ）の商標です。
MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の登録商標または商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

エコバックライトコントロールは、Apical LimitedのAssertive Displayテクノロジーを使用しています。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「**Yahoo!**」および「**Yahoo!**」「**Y!**」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

デコレメール、S!メール、楽デコ、ナビアプリ、カバコレ、スマセレ、お笑いLIFEはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【102SH／102SHⅡ】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【102SH／102SHⅡ】のSARは102SH：0.449W/kg、102SHⅡ：0.456W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は102SH：0.576W/kg、102SHⅡ：0.576W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【102SH／102SHⅡ】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。
Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.ctia.org（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【102SH／102SHⅡ】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は102SH：0.467W/kg*、102SHⅡ：0.467W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

*一般的な携帯電話の身体への装着法については、「**ソフトバンクのボディSARポリシー**」をご参照ください。

保証とアフターサービス

■保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

■アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（☞裏表紙）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。
その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- 本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

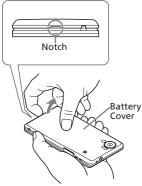
アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（☞裏表紙）までご連絡ください。

Before Using Handset

Accessories

- Battery (SHBED1)
- Micro USB Cable (SHDDL1)
- Micro USB Charging Adapter (SHCDL1)
- Desktop Holder (SHEED1)
- microSDHC Card (complimentary sample)

Battery Installation

1 Remove Battery Cover

- Holding handset firmly, place finger of other hand lightly on Cover, then use notch to slowly and gently remove it.

2 Insert battery

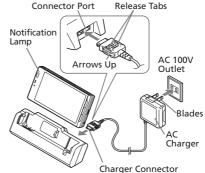
- With recycling symbol up, align battery terminals with contacts.

3 Close Battery Cover

- Align Battery Cover with handset, then firmly press down along shaded areas.
- Close Battery Cover firmly. Debris trapped between Cover and gasket may expose handset to liquid/dust.

Charging (Desktop Holder)

With battery installed, use specified AC Charger ZTDAA1 (sold separately) and Desktop Holder.

- AC Charger and Desktop Holder are not water or dustproofed. Do not charge battery while handset is wet.
- Handset/AC Charger may warm while charging.

1 Insert Charger Connector into Desktop Holder

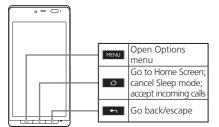
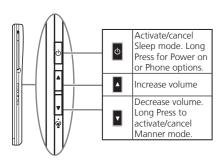
- Insert connector in the correct orientation until it clicks.

2 Extend blades and plug AC Charger into AC outlet

3 Place handset onto Desktop Holder

- Align handset with guides, then push down until it clicks into place.
- Notification Lamp illuminates while charging.
- Notification Lamp goes out when battery is full.

4 Remove handset from Desktop Holder, then unplug AC Charger

Handset Keys

Basic Operations

Handset Power On/Off

■ Power On

(Long)

- After Power On Graphics, Unlock window appears; drag to . When waterproofing/dustproofing guidance appears, tap ***OK***. (Home Screen appears.)

Unlocking Touch Panel

Drag to .

After Powering On for the First Time

Initial setup menu opens before Home Screen appears; follow these steps:

次へ ➡ ***次へ*** ➡ ***次へ*** ➡ ***次へ*** ➡ ***次へ*** ➡ ***次へ*** ➡ ***完了*** ➡ ***いいえ***

Sleep Mode

After a period of inactivity or pressing , Display goes completely dark and Sleep mode activates. To cancel, press ; Unlock window appears.

■ Power Off

(Long) ➡ ***電源を切る*** ➡ ***OK***

English Interface

MENU ➡ ***端末設定*** ➡ ***言語とキーボード*** ➡ ***言語 (Language) を選択*** ➡ ***English***

My Phone Number

MENU ➡ ***Settings*** ➡ ***Profile***

General Notes

Electromagnetic Waves

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 102SH/102SHⅡ is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

■ Battery Cautions

Use specified battery or Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5℃ and 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

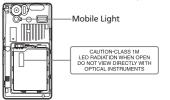
■ Mobile Light

Do not shine Mobile Light in eyes.

May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

CLASS 1
LED Product

CAUTION:
Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Service is limited to authorized service centers only.

■ Mobile Light LED Properties

a) Emission Duration: Continuous
b) Wavelength
White: 400 - 700 nm
Red: 600 - 670 nm (center wavelength: 631 nm)
c) Maximum Emission Output
White: 400 μW (1.2 mW inside handset)
Red: 190 μW (890 μW inside handset)

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.
As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*.
Highest SAR value:

Model	At the Ear**	On the Body
102SH	0.486 W/kg	0.467 W/kg
102SH II	0.486 W/kg	0.467 W/kg

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Please see Electromagnetic Waves on **P.47** for important notes regarding body-worn operation.

**Measured in accordance with international guidelines for testing.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 17.0 mV.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
102SH	APYHRO00157	0.315 W/kg	0.576 W/kg
102SH II	APYHRO00157	0.315 W/kg	0.576 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid under the Display Grant section after searching the corresponding FCC ID (see preceding table).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org.

Customer Service

For information about SoftBank handsets or services, contact us at the following numbers.

SoftBank Customer Support

General Information

- From a SoftBank handset, dial toll free at 157
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0157

Customer Assistance (Repairs/Lost Handsets)

- From a SoftBank handset, dial toll free at 113
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0113

If you cannot reach a toll free number, use the number (charges apply) below for your service area:

Hokkaido Area Tohoku Area Hokuriku Area Kanto, Koshinetsu Area	022-380-4380	Tokai Area	052-388-2002
Kansai Area	06-7669-0180	Chugoku, Shikoku Area Kyushu, Okinawa Area	092-687-0010

Smartphone Technical Support Center

From a SoftBank handset, dial toll free at 151
From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-1700-151

SoftBank Mobile Global Call Center

From outside Japan, dial +81-3-5351-3491 (toll free from SoftBank handsets)
If handset is lost/stolen, call this number immediately (international charges apply)

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

スマートフォン　テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）　一般電話から フリーコール 0800-1700-151（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-3-5351-3491 （有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

2012年7月 第4版発行 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元:シャープ株式会社

TCAUZA248AFZZ